

良寛、日本海、佐渡島、おけさ、町並み、石油、鉱夫、牛乳、ソフトクリームと、バラエティーに富んだキーワードによる写真の数々です。

これから紹介する写真を通して、福祉文化現場セミナーを楽しく体験してください。

新潟福祉文化を考える会 専属写真家 渡邊 豊



①出雲崎町観光案内マップ





②良寛さんが安全運転の看板に



③良寛堂





④良寛堂から見る日本海に浮かぶ佐渡島



⑤北陸ブロック五十嵐真一現理事と関矢秀幸前理事(右)





⑥福祉文化現場セミナー会場入り口



⑦福祉文化現場セミナー会場内





⑧出雲崎おけさ



⑨出雲崎の町並みと日本海に浮かぶ佐渡島





⑩出雲崎の町並み



⑪出雲崎は「石油の里」でもあります



石油産業発祥地記念公園(県文化財指定)

(尼瀬油田機械掘第1号井跡)

古代から、ここ尼瀬は海面に石油が浮遊していた。明治の初期ランプが輸入され石油の利用が知られて、この地域一帯に手堀りによる採油が盛んとなった。明治24年(1891年)に機械による深層堀削を行ったところ噴油を伴う大成功をおさめた。これより石油の量産が可能となり、今日の日本の石油産業発展の端緒を開いた。この井跡地を公園とした。米国の発祥地、ドレーク井記念公園と姉妹公園となっている。

⑫公園を紹介する看板



⑬鉱夫の像



## 鉦夫の像

西山油田(株)西山鉦場は、明治三十年(一八九七年)日本石油(株)による長嶺一号井の大噴油を発端として以来、全国にその名を馳せ、石油の増産に日夜奮闘を続けていた。

この像は、昭和十九年(一九四四年)の秋、東京から美術報国推進隊(隊長鶴田吾郎画伯)が、従業員の慰問に訪れたおりに作業員の雄姿を造形し「産業戦士の像」として、鉦場事務所の前前に建立したものである。時は移り、かの西山油田も全く衰亡し、単調な田園風景に変わった。昭和四十八年(一九七三年)に帝石運輸(株)から往時の西山油田を忍ぶ無上の記念物としてこの像を当公園に寄贈された。

像は、ロータリー式掘さく機により掘さく手が掘進作業中のもので右手にブレーキハンドルを持ち、左手に速度調整電気スイッチを持つものである。

新潟県 出雲崎町

⑭鉦夫の像を紹介する看板



⑮公園に咲くバラの花





⑩良寛牛乳工場



⑪良寛牛乳



## Soft Ice Cream



良寛牛乳  
ソフトクリーム  
¥400

牛乳ソフト  
カップ  
¥300

良寛ミックス  
ソフトクリーム  
¥450

ミックスソフト  
カップ  
¥350

良寛コーヒー  
ソフトクリーム  
¥450

コーヒーソフト  
カップ  
¥350

## Ice Cream



そのまんま牛乳アイス  
¥270

## Yogurt



良寛ヨーグルト  
¥60



プレーンヨーグルト  
¥600

## Pudding



良寛プリン  
¥60



良寛牛乳プリン  
¥60

⑱良寛牛乳ソフトクリームもあります